

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

I 概況

1 生産の動き

平成8年の県内鋳工業生産指数の年平均は、94.1（平成2年=100）で（年指数については、原指数による。以下同じ。）、対前年比4.7%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると（四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。）1～3月期92.0（対前期比6.3%増）、4～6月期90.9（同1.1%減）、7～9月期97.2（同6.9%増）、10～12月期96.3（同1.0%減）と増減を繰り返した。（表1、図1）

これを業種別に対前年比で見ると、輸送機械工業22.7%、プラスチック製品工業6.9%、非鉄金属工業6.1%、食料品工業4.6%、電気機械工業4.5%、一般機械工業4.3%、その他工業2.0%とそれぞれ増加した。一方、鉄鋼業△3.8%、窯業・土石製品工業△3.6%、繊維工業△2.8%、化学工業△1.7%、パルプ・紙・紙加工品工業△0.4%とそれぞれ減少した。（表3）

また、財別に対前年比で見ると、耐久消費財20.3%、資本財11.2%、非耐久消費財4.7%、鋳工業用生産財0.8%とそれぞれ増加した。一方、建設財△2.1%、その他用生産財△1.6%とそれぞれ減少した。（表5）

2 生産者製品在庫の動き

平成8年の県内鋳工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」という）の年平均は、106.5（平成2年=100）で、対前年比2.0%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期107.5（対前期比4.0%増）、4～6月期108.0（同0.5%増）、7～9月期108.6（同0.6%増）、10～12月期102.2（同6.0%減）と3期連続増加したのち、再び減少した。（表2、図1）

これを業種別に対前年比で見ると、非鉄金属工業23.7%、化学工業15.0%、パルプ・紙・紙加工品工業7.3%、一般機械工業6.4%、鉄鋼業6.2%、食料品工業4.8%とそれぞれ増加した。一方、輸送機械工業△36.6%、窯業・土石製品工業△14.7%、繊維工業△12.8%、電気機械工業△11.0%、プラスチック製品工業△7.3%、石油・石炭製品工業△5.6%、金属製品工業△3.9%、その他工業△3.0%とそれぞれ減少した。（表4）

また、財別に対前年比で見ると、その他用生産財9.5%、鋳工業用生産財7.7%とそれぞれ増加した。一方、耐久消費財が△18.8%、建設財△17.2%、非耐久消費財△12.3%、資本財が△1.1%とそれぞれ減少した。（表6）

（参考）全国の概況

平成8年の鋳工業生産は、前年比2.7%と3年連続の上昇となった。

業種別には、電気機械工業、一般機械工業、輸送機械工業など10業種で上昇した。特に電気機械工業で6割以上の上昇寄与。財別で消費財を除くすべての財で上昇し、そのほとんどが資本財の寄与である。

在庫は前年末比△1.8%と、2年ぶりの低下となった。業種ごとにはばらつきが目立つものの、鋳工業全体としては在庫の状況は大きく改善した。

資料：通商産業大臣官房調査統計部編「生産活動からみた日本経済（平成8年年間回顧）」

//

「生産・出荷・在庫及び在庫指数(平成8年年間補正指数)」